

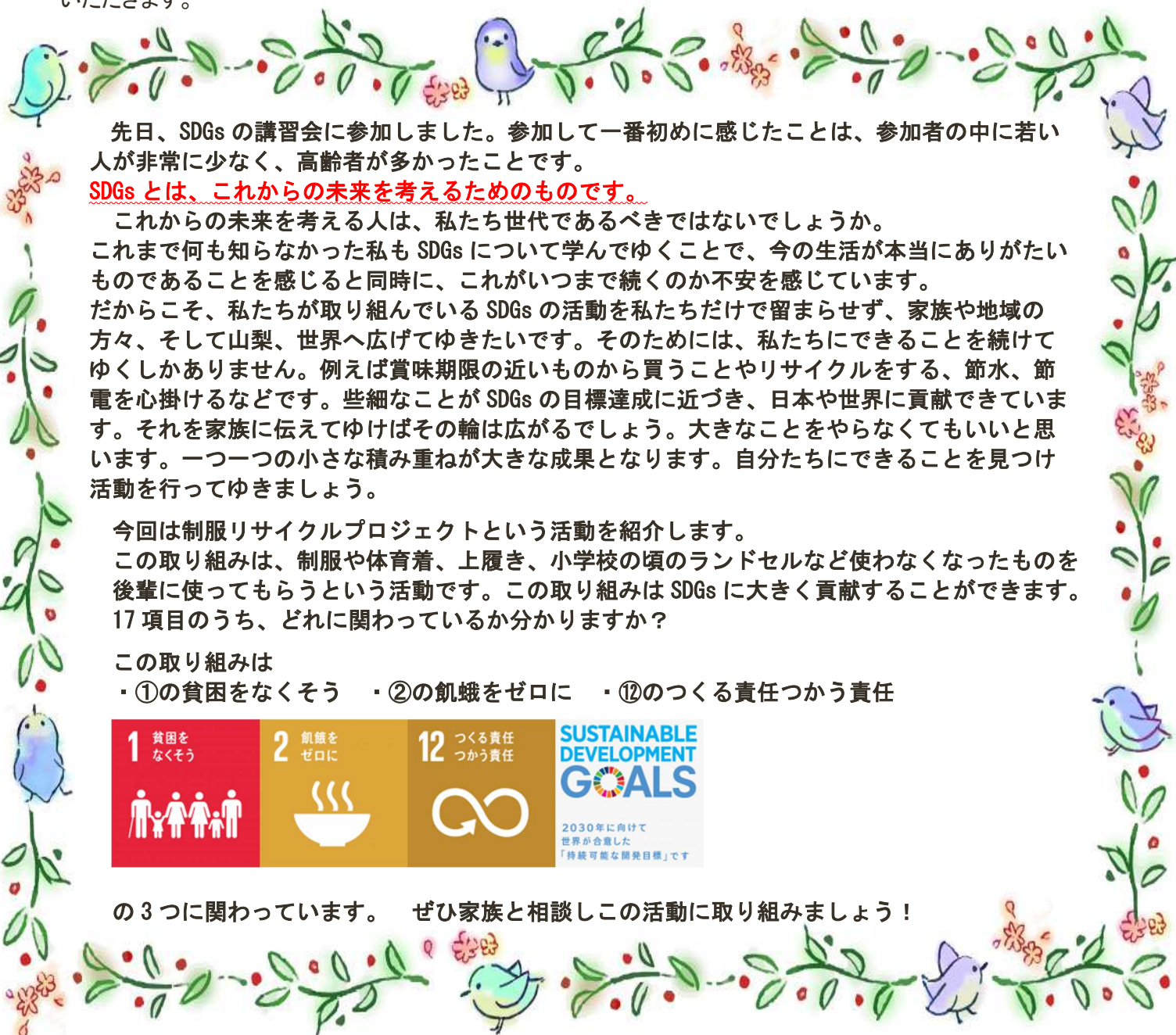
～制服・学用品リサイクルプロジェクトについて～



※お願い

- 制服については、中学校は『笛吹市内中学校』指定のもの、高校は『県内の高校』指定のものを受け付けます。
- 状態の良いものに限りです。状態によりお受け(回収)できない場合があります。
- 学習机など大型の物を譲りたい方は、写真(裏面に氏名、連絡先明記)で提供していただき、イベント期間中に当事者同士で物品の詳細や受け取り方法など電話等で連絡し確認してください。

このプロジェクトは昨年度、「南アルプス市若草地区 地域支え合い協議体」で行っていたプロジェクトに、私たち団体もこの思いに強く賛同し、是非笛吹市内でも実施したい旨を相談し、快く了承していただきました経緯です。また、その際こちらの生徒会本部の生徒さんが学校で配布した文面がとても素晴らしかったので、ご紹介させていただきます。



先日、SDGsの講習会に参加しました。参加して一番初めに感じたことは、参加者の中に若い人が非常に少なく、高齢者が多かったことです。

SDGsとは、これからの未来を考えるためのものです。

これからの未来を考える人は、私たち世代であるべきではないでしょうか。これまで何も知らなかった私もSDGsについて学んでゆくことで、今の生活が本当にありがたいものであると感じると同時に、これがいつまで続くのか不安を感じています。だからこそ、私たちが取り組んでいるSDGsの活動を私たちだけで留まらず、家族や地域の方々、そして山梨、世界へ広げてゆきたいです。そのためには、私たちにできることを続けてゆくしかありません。例えば賞味期限の近いものから買うことやリサイクルをする、節水、節電を心掛けるなどです。些細なことがSDGsの目標達成に近づき、日本や世界に貢献できています。それを家族に伝えてゆけばその輪は広がるでしょう。大きなことをやらなくてもいいと思います。一つ一つの小さな積み重ねが大きな成果となります。自分たちにできることを見つけ活動を行ってゆきましょう。

今回は制服リサイクルプロジェクトという活動を紹介します。

この取り組みは、制服や体育着、上履き、小学校の頃のランドセルなど使わなくなったものを後輩に使ってもらうという活動です。この取り組みはSDGsに大きく貢献することができます。17項目のうち、どれに関わっているか分かりますか？

この取り組みは

- ・①の貧困をなくそう ・②の飢餓をゼロに ・⑫のつくる責任つかう責任



の3つに関わっています。ぜひ家族と相談しこの活動に取り組みましょう！



※お問合せ先: ボランティア団体「防災ブレーメン」

代表: 三枝 ☎090-1817-6468

EMAIL: bousai.bremen@gmail.com